

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月10日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス まひな

対象人数（保護者）22人 回答者数 16人 回収 72.7%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	14	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1				
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	2	5		・ 地域の子どもたちと関わった際には積極的に情報を発信していきたい。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	4	3		・ 保護者の方からの要望を優先させたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	5	5	父母会などがなくてありがたいです。うちは兄弟利用ではないので、	・ 父母会の開催については、保護者の方からの要望を優先させたい。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		5	・重大な事故などはまだ起こっていないが、事業所内で起きた怪我などは保護者にその日のうちに報告している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス まひな		2026年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に応じて、子どもたちが利用するスペースを分けている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・必要に応じて、職員の数を調整し、人数を増やして対応している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもたちが視覚的に行動できるよう配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃、感染症の時期などには、必要に応じてその都度消毒などを行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンが必要な児童には、別室の使用ができるよう配慮している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・なるべく職員全員が共通認識ができるようにそのための会議などを設定している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの要望や意向は職員で共有し、業務に反映させている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・児童がいない時間にミーティングを行ったり、年末には個別面談をしたりして職員の意見を業務改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在第三者などによる評価は行っていないため、今後考えていきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部への研修や法人内研修を適宜行っている。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・公式LINEやホームページ等で公表している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにモニタリングやアセスメントを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画は職員間で共有され、それを基に適切な支援を行うことができるよう連携している。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者の方にはアプリを用いた日々の記録を提示し、職員間では適宜子どもたちの様子を把握するための会議を開いて確認している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的にあセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは各職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作りに上げている。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・こどもの特性や状況、要望などに応じて、皆にとって有益になるようなプログラムを提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・こどもの発達段階に応じて個別活動、集団活動での課題を見つけ、個別支援計画に反映させ、支援に繋げている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・子どもたちが来所する前に、その日の支援内容や役割分担について確認し、利用者の状況や変化を把握できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・子どもたちの降後後に職員間で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・その日の子どもの様子を振り返り、職員間でも共有し、利用者個人の支援記録を毎日作成しモニタリング等に役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・少なくとも半年に一度のモニタリングを実施し、見直しを行う上で、保護者に対しては面談を通して学校や他事業所での様子を共有し合いながら、計画の見直しなどを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・活動の参加の仕方や自由時間の過ごし方など子どもたちの意思を尊重し、自己決定につながる支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・必ず子どもたちの様子を知る職員が会議に参加してスムーズに情報共有ができるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え、情報共有を図るなど関係機関との連携の体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報を共有しているが、必要に応じて学校とも情報共有を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・就学前に利用していた施設は把握しているが、相談員とのやり取りが多く、その施設との直接的なやり取りはしていないため、今後検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現時点では対象者がいないが、今後対者の方が出てきた場合はこれまでの支援内容等に情報提供を行っていくよう体制を整えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じて検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	・長期休暇や学休日などに、同法人の他事業所と交流する機会を設けたり、地域の公園にでかけ、そこで遊ぶ地域子ども達と関わったりしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・参加できていないが、参加するための体制を整えていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・アプリ内の連絡帳にて日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・現在特に必要なご家庭から支援をしているため、まだ全体に広まっていないものの、少しずつ支援が広がっていくように随時LINEや電話などで呼びかけていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き、その意思を尊重している。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意、署名を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて面談だけではなく、電話やLINE等でも相談を受け付けており、支援方法なども提案している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者の方がほとんど平日などは働いており、時間の確保が難しいこともあり、父母の会や保護者同士の交流する機会は設けたことがないため、今後必要であれば検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めていると共に、重要事項説明書に県や市の対応窓口についても記載している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・主にLINEを使用し、行事予定や活動概要を示し、SNSやホームページで情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されている書類等はすべて鍵付きの書庫に保管し、業務上知り得た個人情報は外部に漏らすことがないよう職員間で徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・状況や保護者の方からの要望を踏まえて適切に意思の疎通ができるよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・今後保護者からの要望があれば、検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事業所におけるマニュアルの策定やそれを踏まえた訓練の実施などを行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、事業所内にて避難、救出その他必要な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬、てんかん発作等の配慮が必要な子どもの保護者より、その都度状況を確認し共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・現在、対象となる利用者はいないが、今後利用することになれば、対応していく準備をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいた研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案が起こった際ヒヤリハットを作成し、原因と予防策等を職員間で話し合い周知に務めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を事業所内で設立し、職員間で虐待にあたる事項など周知し、虐待がないよう徹底している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載し、保護者の方から同意を得て支援をしている。		